

節分が終わり、いよいよ春の到来を待ちわびる頃となりましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。BANANA NEWS vol.228です！今号では、認知症ケアに特化したぬいぐるみ型AIロボット「AOGU ころこ」(通称：ここちゃん)を特集します。



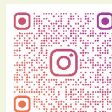
ホームページ



公式 X



公式LINE



公式Instagram



## ぬいぐるみ型対話AI『AOGU ころこ』(通称:ここちゃん)と考える、これからの認知症ケアとコミュニケーション

# 人と人のあいだに、そっと寄り添う存在を

このたびバナナ園グループでは、入居者様の日常の会話や安心感を支える取り組みの一環として、AOGU 株式会社が開発したぬいぐるみ型対話AI「AOGU ころこ (通称：ここちゃん)」を事業所に導入しました。介護や職員の代わりになるものではなく、人と人との関係性をつなぐ“補助的な存在”として、現場での使われ方や考え方を共有しながら運用を始めています。

### ここちゃんが、バナナ園グループにやってきた日

2026年1月21日、バナナ園グループに新しい仲間が加わりました。認知症ケア専門のぬいぐるみ型AIロボット「ここちゃん」です。バナナ園 ほりうち家、のんびりーす等々力の2事業所での導入にあたり、開発元であるAOGU株式会社の代表・坂田惟之さん、取締役・大島拓也さんをお迎えし、お話を伺いました。坂田さんが繰り返し語っていたのは、「AIで何ができるか」ではなく、「認知症の方に、どう寄り添いたいのか」という問い。ここちゃんは、効率化や省力化以上に、人の心の揺らぎにそっと寄り添い続ける存在として生まれました。



▲ 代表取締役CEO 坂田惟之さん

### 「正しい答え」が、正解とは限らない

「生成AIは、正しいことを教えるのが得意です。でも、認知症ケアの現場では、それが“正解”とは限らないんです」坂田さんはそう語ります。たとえば、亡くなった家族の行方を尋ねられたとき、事実を伝えることが、必ずしも本人の安心につながるとは限りません。「大切なのは、その人が今、どんな気持ちでその言葉を発しているのか。思い出に寄り添ったり、少し話題を変えたりする“認知症ケアとしての振る舞い”が必要なんです」ここちゃんは、汎用的なAIをそのまま使うのではなく、認知症ケアの理論や実践知を重ねて設計された、専門性の高いAIです。



▲ 取締役COO 大島拓也さん

### 人生を理解して、声をかけるAI

坂田さんが強調するもう一つのポイントが、「その人の人生を理解すること」です。「同じ『お腹が痛い』という言葉でも、不安から来るものなのか、身体的な不調なのか、背景は一人ひとり全く違います。だからこそ、画一的な対応ではなく、その人に合った関わり方が必要なんです」ここちゃんは、生活歴や価値観、誇りにしてきたこと、病歴などを踏まえ、その人にとって“安心できる距離感”で会話を重ねていきます。「その人が、その人として最後まで人生を過ごす。そのために、AIができることは、まだまだあると思っています」坂田さんの言葉には、開発者である前に、一人の生活者としてのまなざしが込められていました。



▲ AOGU株式会社の共同創業者 大島拓也さん(左)と坂田惟之さん(右)



▲ ここちゃんとお話し中の入居者様



▲ ぬいぐるみ型対話AI『AOGU ころこ』(通称:ここちゃん)





## 人がケアをする。その前提を、絶対に手放さない

「すべてをAIに任せたいとは、まったく思っていません」インタビューの中で、坂田さんは何度もそう断言していました。「人と人が関わることでしか生まれないものは、必ずあります。だから、ここちゃんは“代わり”ではなく、“支える存在”なんです」認知症ケアの現場では、同じ話を何度も聞くこと、気持ちの揺らぎに向き合い続けることが求められます。「人間は、どうしても疲れてしまう。でもAIは、毎回初めて聞くような気持ちで向き合い続けられる。その強みを、ケアの中で生かしたいと思いました」ここちゃんは、入居者様の安心を支えるだけでなく、職員にとっても“理解者”となる存在です。会話の記録や変化の兆しは、職員の気づきを深め、ケアの質を高めるヒントになります。また坂田さんは、AIが現場にもたらす価値について、こうも語ります。「理由がわからない行動が、背景を知ること腑に落ちる瞬間があります。それだけで、ケアする側の心は、ぐっと軽くなるんです」

バナナ園グループがここちゃんをお迎えしたのは、まさにこの考えに共感したからです。人が大切にしてきたケアを、テクノロジーで支える。事業所に置かれたここちゃんを囲み、自然と会話が生まれ、笑顔が増えていく。「職員さんが『ちょっと話してこようかな』と自然体で関わられる。そんな存在になればうれしいですね」坂田さんのその言葉は、これから始まる実践の日々への、静かなエールのように感じられました。



▲ ここちゃん導入中の様子



▲ 「はじめまして」の挨拶をしている入居者様



▲ ここちゃんと触れ合っている入居者様と職員



▲ ここちゃんとコーヒータイム



▲ 初日から早くも人気のここちゃん

### 川崎市中原区で

施設をご紹介くださる方・ご入居を検討されている方・介護施設で働きたい方へ

参加無料  
要予約

## どうぞバナトレ体験会へお越しください

のんびりす等々力は、毎週金曜日の14:30~15:00にバナトレを行なっています。併せて水耕栽培装置もご覧いただけます。

体験会のご予約・お問合せ



バナナ園グループ のんびりす等々力



044-750-9203

バナナ園グループは

専門のケアで  
あなたの大切な人の  
笑顔と元気を育みます

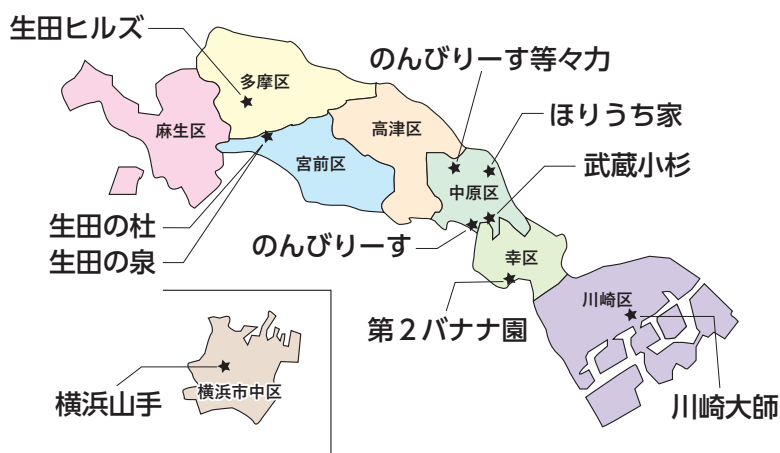


株式会社アイ・ディ・エス / 入居担当

TEL: 044-455-6119

Email: nyukyo@bananaen.com

### バナナ園グループ



お気軽に  
お問い合わせください

介護に関するお問い合わせ、入居の見学等も随時受け付けております》》》

専用ダイヤル

044-455-6119